

癌化学療法輸液約束処方 難治性のネフローゼ症候群

癌種

難治性のネフローゼ症候群(頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合)

レジメン名 腎内1 Rmab(ネフローゼ)

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
リツキサン	リツキシマブ	Rmab	375mg/m ² (最大500mg/body)	div	DAY1,8,15,22	下記参照	22日

初回【DAY 1】

- ① NS 50ml + ソルメドロール 125mg / 1A / 30分 ☆ポララミン2mg、カロナール400mg内服
- ② 5%Tz 450ml + リツキサン 500 mg / 25ml/hrから開始
投与速度: 1時間毎に 100ml ずつ上げる(25ml/hr → 100ml/hr → 200ml/hr まで)
- ③ 5%Tz 50ml / 5分

2回目以降回【DAY 8,15,22】

- ① NS 50ml + ソルメドロール 125mg/1A / 30分 ☆ポララミン2mg、カロナール400mg内服
- ② 5%Tz 450ml + リツキサン 500 mg / 100ml/hrから開始
投与速度: 1時間毎に 100ml ずつ上げる(100ml/hr → 200ml/hr まで)
- ③ 5%Tz 50ml / 分

〈 禁忌 〉本剤の成分又はマウスタンパク質由来製品に対する重篤な過敏症またはアナフィラキシー反応の既往歴のある患者。

〈 調整方法 〉

リツキサンは 1mg/ml となるように5%ブドウ糖液(生食でも可)で希釈する。(10倍希釈)
輸液バックは緩やかに混和する。振とうにより泡立つと抗体凝集がおきる。

〈 備考 〉

- ① 投与速度は 初回は25ml/hr から開始し、1時間毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 200ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、1時間後に 200ml/hr に速度を上げる。最大 200ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後12カ月はHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ フィルター(0.2 μ mのインラインフィルター:テルモ)は使用可能。

H27.10.17作成